

進路のてびき

令和3（2021）年度

【最初にお読みください！】

コロナウイルス感染症の影響から、本年度は、就職・進学ともに、試験日程、試験の実施の有無、試験内容、募集規模等について様々な留意が必要です。

就職活動にかかる日程については、現時点では全国共通で以下の通りとなっています。

7月1日：求人情報公開 9月5日：応募開始 9月16日：選考開始

しかし、選考試験日等については、コロナウイルス感染症の影響から、各企業が当初予定した時期とずれることもあり得ます。試験等の情報を適宜・的確に入手確認するとともに、慎重にかつ適切に就職活動を行うようにしてください。

進学についても、高校が休校になったり高校の教育活動が夏季休業期間中にずれ込んだりするなどの影響から、入試の日程や選抜方法等が急遽変更になることがあり得ます。進学志望者は、自分の進学希望校の入試情報について、適宜・的確に入手確認するとともに、慎重にかつ適切に進学に向けての活動を行うようにしてください。

就職・進学ともに、よく分からない場合、不安な場合は学校に相談してください。



代々木高等学校

- 高等学校卒業後の進路について考えるときに、どこに就職するか、あるいはどこに進学するかという点は大切なことですが、それ以上に大切なのは、就職先あるいは進学先でみなさんの個性や能力をどのように発揮し、どのような仕事や勉強をするかという点です。この点を十分考えて、自分の進路を決めることが大切です。
- また、進路を決定するためには、将来の展望について具体的なイメージを持ち、生涯にわたる人生設計を試みることも大切です。
- 進路について、意志と意欲を固め、的確な情報を得て、見通しや計画性をもって考え・行動し、速やかに手続きを進め、着実に人生の基盤を作ってください。
- 進路について悩んでいること、考えていることがあったら、担任に相談してください。
- 進路にかかる情報は、様々な方法を通じてうまく活用するようにしてください。
- この「進路のてびき」では、進学希望と就職希望の2点について、必要事項をまとめましたので、みなさんの進路決定の参考にしてください。
- 進路に関する様々な場面では、必ず必要となる手続きがあります。以下にまとめてありますのでよく読んで、漏れのないように十分注意してください。
- なお、代々木高等学校からの推薦を受ける場合は留意が必要です。「推薦を受けたのに受験しない」、「合格（採用）になったのに入学（入社）しない」ということは認められません。そうした行動は、代々木高等学校の信用を著しく損なうだけでなく、代々木高等学校と進学先・就職先との信頼関係に影響を与え、代々木高等学校の後輩に多大な迷惑をかけることにもなりかねません。高等学校からの推薦の意味と重みを十分に考えてください。

1. 大学・短大・専門学校などへの進学を希望する場合

(1) 大学、短期大学、専門学校について

<大学（四年制大学）>

- 学問について学術的・理論的な研究を行う高等教育機関です。
- 修業年限については、医学系、歯学系、薬学系、獣医学系など一部の6年制の学部・学科を除き4年間となっています。
- 大学卒でなければ取得できない資格もあります。
- 卒業後は、自分が専攻した分野と関連のある職業に限らず様々な幅広い業界への就職が可能です。さらに専門的な研究を深めたいときは、卒業後に大学院に進学することも可能です。
- 入試については、主に一般選抜（大学入学共通テストを含む）、学校推薦型選抜、総合型選抜試験（旧 AO 入試）があります。入試方法は年々多様化しています。
- 受験の難易度及び出願基準（取得した資格等）は様々です。日々の勉強を頑張ることでよい結果につながることもあれば、受験のためにかなり時間をかけて勉強することが必要な場合もあります。

<短期大学>

- 幅広い教養を身につけるとともに職業や実際の生活に役立つ能力を育成する高等教育機関です。多くの種類の資格が取得できます。
- 修業年限は、2年間が大半で、一部医療系は3年間のところもあります。
- 就職については、自分が専攻した系統・分野への就職及び一般職への就職が多いとされていますが、様々な分野での就職が可能です。大学への編入学も可能です。
- 入試については、主に一般選抜（大学入学共通テストを含む）、学校推薦型選抜、総合型選抜（旧 AO 入試）があります。入試方法は四年制大学と同様に多様化しています。

<専門学校>

- 特定の職業に必要な知識や技術・資格等を身につけるために実践的・実務的な教育を行う高等教育機関です。
- 修業年限は、学ぶ学科により異なり、1年から4年まであります。

- ・就職については、即戦力として自分が専攻した分野への就職が圧倒的に多くなっています。大学等への編入学も可能です。
- ・入試については、主に一般入試、推薦入試、AO入試があります。多くの場合、推薦入試、AO入試を利用します。

※専門学校とは、正確には「専修学校専門課程」のことを指します。専修学校とは、修業年限や授業時間等について定められた条件を満たし、都道府県知事の認可を受けた教育機関のことを指します。一方で、専門的な教育を行いつつも都道府県知事の認可を受けていない教育機関もあり、それらは「無認可校」とよばれます。教育の質の善し悪しは一概には言えませんが、認可校には、学生割引が利用できる、公的な奨学金が利用できる、国家資格取得上の特典がある等のメリットがあります。この点を、十分理解した上で、進学先の専門学校を選ぶことが大切です。

(2) 入試の種類について

- ① 学校推薦型選抜：10月～11月が多い
ア、指定校制 イ、公募制
 - ② 総合型選抜：9月～11月が多い
 - ③ 一般選抜：1月～3月が多い
(大学入試共通テストは1月中旬)
 - ④ AO入試(専門学校)：6月～
- ※ 入試の実施時期については必ず希望進学先の学校のHP等で確認してください。

① 学校推薦型選抜

<指定校制>

- ・大学等が過去の実績や大学と高校との信頼関係などから「代々木高校から◎人推薦してください」と指定してくる推薦入試です。
- ・校内で同じ大学等を希望する生徒が推薦人数を越えた場合、校内選考で出願者が選ばれます。
- ・合格する確率が高いですが、100%ではありません。
- ・事前に必ずオープンキャンパスに参加してください。
- ・試験は面接試験が中心ですが、小論文などが課される場合もあります。

- ・学校によっては欠席日数の規定がある場合があります。
- ・合格後は必ず入学しなければなりません。

<公募制>

- ・全国の高校に対して、大学等が決めた基準（評定平均値・欠席日数など）を満たす生徒を募集する推薦入試です。
- ・他校の生徒との競争試験です。倍率は学校によってかなり異なりますが、人気校の場合は、3倍以上になることもあります。
- ・面接、小論文、基礎学力テストなど、学校によって試験の形態は異なります。調査書の内容も重視されます。
- ・合格後は原則入学しなければなりません。

② 総合型選抜

- ・詳細な書類審査と時間をかけた丁寧な面接等を組み合わせることによって、入学志願者の能力・適性や学習に対する意欲、目的意識等を総合的に評価・判断する入試方法です。
- ・入試の形式は、大学教育を受けるために必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力も適切に評価するため、調査書等の出願書類だけではなく、小論文等、プレゼンテーション、口頭試問、実技、各教科・科目に係るテスト、資格・検定試験の成績等、または大学入学共通テストのうち少なくともいずれか1つを選択するなどさまざまです。

③ 一般選抜

- ・学科試験が特に重視される入試です。
- ・3つの入試のタイプの中では最も遅い時期（2月中心）に実施されます。
- ・一般入試での合格をめざすなら、相当量の受験勉強が必要です。

④ AO入試（専門学校）

- ・生徒が、その学校の教育方針、校風、特徴などを理解し、その学校に入学したいと強く願い、学ぶ意欲の高さや高校時代のすごし方などを学校側が総合的に評価して合格が決まるという入試です。
- ・推薦入試と異なり、評定平均値などの基準がない場合が多いです。

- 入試の形式は、課題（レポート）型、面接型、プレゼンテーション型など、さまざまです。
- 事前にエントリーなどが必要な場合もあります（オープンキャンパスなどでエントリーする）。
- 入試説明会への参加や特別講座の受講などが義務づけられている場合もあります。
- 単願（専願）の場合と、併願を認めている場合があります。単願（専願）の場合は、学校推薦型選抜と同様に、必ず入学しなければなりません。

※ 大学入学共通テストについて

- 大学入学共通テストについては、「令和4年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト実施大綱」（令和2年6月19日付け 2文科高第280号 文部科学省高等教育局長通知）に定められたものを除いて、実施方法、出題教科・科目の詳細、時間割、試験場、出願手続、検定料、成績提供、経費等に関する要項を定め、令和3年6月30日までに公表するとなっています。
- 受験案内（要項）は9月1日以降に配付されます。大学入学共通テスト利用大学または全国学校案内資料管理事務センター（<http://shingaku.telemail.jp>）で入手できます。
- 一般受験よりかなり早い時期の出願になるので、受験を予定している大学・短大・学部等の大学入学共通テスト利用の有無などを各自で8月末頃までには確認しておいてください（共通テストを利用する学校は、共通テストを受けていないと受験できなくなります）。
- 例年9月末頃までに、所定の出願書類を高校へ提出します。本年度の具体的な提出期限は後日お知らせします。
- 試験実施期日は、毎年1月13日以降の最初の土曜日及び翌日の日曜日です。令和4年度大学入学共通テストの実施期日は、令和4年1月15日（土）及び16日（日）です。

(3) 志望校を選ぶポイント

志望校選択のポイントは、いくつかありますが、まとめると次のようになります。

- ①学部・学科（取得できる資格・知識・技術等） ②通学時間
 ③卒業後の進路（就職状況） ④学校の雰囲気 ⑤入試形態と日程
 ⑥学費 ⑦学力（難易度） ⑧友人関係 ⑨先輩の進学先

- どの項目を重視するか慎重にかつ真剣に考えましょう。
- 専門学校の場合は、「大規模校」か「小規模校」かの違いや、「課題の量」にも注目してください。周りに流されやすい人は「小規模校で課題が多い」学校を選んだほうがよいこともあります。
- 往復3時間以上かかる学校に通いながらアルバイトをするのは非常に困難です。アルバイトをして学費を補おうと考えている場合、学校の所在地（=通学時間）も進学先を選ぶ際の大切な要素となります。

（4）進学に関する留意点

- 入試は、出願やエントリーのときに高校からの書類が不要の場合もありますが、必ず担任に相談、連絡しましょう。
- オープンキャンパスに参加するときは、身なりを整えて行きましょう。入試担当者はその辺りもチェックしています。
- 情報は自分で集めましょう。また入学願書などは自分で取り寄せましょう（指定校制の場合は学校からになります）。
- 出願の際は、早めに書類を準備しましょう。
- 合格した後、必ず入学手続きがあります。早い場合は合格後1週間以内に手続きしないと合格が取り消されます。入学手続きとは、「書類の提出」と「学費等の納入」です。
- 学校推薦型選抜の際、卒業年次前半の成績が必要となります。したがって、学校推薦型選抜を希望する生徒は、レポート・メディア視聴報告書等の提出物の前半分（Student Handbook 記載）を遅くとも8月2日（月）の中間締めまでに提出するとともに、スクーリングや試験等についても早めに受けておく必要があります。十分留意してください。一般選抜を受験する生徒も、受験に向けての準備を着実に進めるために、レポートの提出、スクーリング、試験等を早め早めに受けるようにしてください。卒業年次前半の成績が記載された調査書は9月15日以降の発行となります。それまでは前年度成績までの記載となります。

(5) 進学費用について

①学費

- 学費=授業料+教科書代
- 授業料は、多くの私立学校で年間100万円以上となっています。

授業料など：100万円/年+入学金30万円+ α

というのが標準です。

したがって、卒業するまでに学校に納める金額は、

大学：450万円～ 短大・専門学校：250万円～

ということになります。（詳細は各自で調べてください。）

- 教科書代は、学部によって様々です。

②奨学金と教育ローンについて

- 奨学金・・・生徒本人が申し込みをし、生徒本人が借りて返済する。
- 教育ローン・・・保護者が申し込みをし、保護者が借りて、返済する申し込みをする人が、受給の条件を満たすか審査されます。

<奨学金>

- 奨学金には「貸与」と「給付」があり、「給付」の場合は返済する必要はありません。奨学金の多くは「貸与」で、「給付」は条件が厳しくなっています。
- 奨学金のパターン

①国が行っているもの ②各地方自治体が行っているもの

③民間団体が行っているもの ④各大学等が独自に行っているもの

- この中で最も多く利用されているのは①です。②は少額の場合が多く、各自治体で条件などが異なります。③は種類が少なく、「交通遺児向け」など条件がつく場合が多いです。④は成績が優秀な一部の生徒に「給付」される場合が多いです。

<日本学生支援機構の奨学金>

- これは、国が行っている奨学金ですが、2020年4月から給付型奨学金制度の拡充が図られました。また、給付型奨学金の対象者は、別途進学先の大学等に申し込むことで、授業料と入学金の免除・減額を受けることもできます。

奨学金の案内については、別途みなさんに送付しましたので、必要な

人は必ず確認してください。

2022年4月給付を受けようとする場合の主なスケジュールは次の通りです。（日本学生支援機構の案内パンフより）

（※すでに、別のご案内で通知済みですが、代々木高校の場合、第1回目の申込期間は4月下旬から5月31日まで、第2回目の申し込みが6月1日から6月31日まで、第3回目の申し込みが7月1日から7月31日までとなっております。この期間以外には申し込みができませんので注意してください。）

主なスケジュール		2022年4月から支援を受けようとする場合のスケジュールは次のとおり	
事前に	準備	本人	文部科学省やJASSOのサイトで、制度の詳しい内容や自分が対象になりそうかを確認してみよう。「対象かも」と思ったら学校から申込書類をもらいましょう。
2021年 4月～	給付型奨学金 申込み	本人	学校に必要書類を提出し、インターネットで申し込みましょう。また、マイナンバー（本人分・保護者分）をJASSOに提出します。
10月頃	通知	JASSO	支援の対象になったら通知が届きます。（予約採用の候補者決定通知）JASSOから給付型奨学金の支援対象として認められた人は、進学後に別途申し込みすることで、大学等の授業料・入学金の支援も受けられます。
2022年 4月	進学届 減免申込み	本人	支援の対象になる学校に入学したら、インターネットで進学届を提出します。授業料・入学金の減免は、進学先の学校へ申込みします。
	支援の 開始	JASSO 学校	奨学金の最初の振込は4月または5月です。授業料や入学金も減免されます。

① 申込期間は学校により異なります。給付型奨学金（予約採用）の申込期間は高校に、授業料・入学金の減免の申込期間は進学先の学校に、それぞれ確認してください。

②

<奨学金の返済について>

・奨学金は卒業後に返済しなければなりません。そういう意味では「借金」があるのと同じです。奨学金を申し込む場合は、卒業後に返済することも考えて希望する金額を決めましょう。

・例えば、大学に通う4年間、毎月10万円ずつ奨学金を借りたとします金利は年3%とします。すると、大学を卒業した時点で、

$$10万 \times 12ヶ月 \times 4年間 = 480万円$$

の借りがあることとなります。

これを10年間で返済するとすると、毎月約47,000円ずつ返すこととなります。また20年間だと、毎月約27,000円になります。卒業後の人生設計も考えた上で、奨学金の申し込みをしましょう。

<教育ローン>

- ・教育ローンは、銀行で融資しているものもありますが、一般的に金利が高めです。国が行っているもののほうが金利が低いので、教育ローンを考えるならば、まずこちらを検討したほうがよいでしょう。

<国の教育ローン>

- ・日本政策金融公庫が行っている教育ローンで、高等学校3年時に申し込むことができます。申し込み後2ヶ月の審査期間を経て、貸付を受けられるかどうかが決まります。ただし、返済が困難になりそうな状況の方には貸付は行われません。
- ・奨学金と違い、早めに手続きをすれば、入学手続き時の学費の払い込みにも利用できます。

(6) 進学の際の手続きおよび留意点

- ・進学を希望する学校の入試要項や出願に必要な書類は、各自で準備してください。
- ・要項をよく読み、出願時に必要な書類、出願期間、試験日、合格発表日等を確認してください。
- ・学校推薦型選抜は単願の場合が多いので、推薦書を同時に2枚以上申請することは原則できません。ただし、入試日程の都合などで複数の推薦書が必要な場合は、事前に担任に相談してください。

<本校の調査書・推薦書などが必要な場合の手続き>

以下をすべて準備し、出願の2週間前までに担任へ提出してください。

- ・必要事項を記入した証明書申請用紙。
- ・手数料（在校生1通500円、卒業生1通800円。自宅へ郵送を希望する場合は、プラス送料500円。）。
- ・入試要項で、「受験する学校名」「受験する学部・学科・コース」「受験資格」「出願期間」「必要書類」「試験日程」が記載されている部分のコピー（下線部について記載されている部分を蛍光ペンなどでマークしたもの）。
- ・受験する学校が指定する推薦書用紙等がある場合はその用紙。

<申請及び書類の取扱いについて>

- ・出願締め切り間際の申請では、事務処理上、間に合わせることができ

- ません。出願期日については十分注意し、早めに申請してください。
- 調査書や推薦書などは開封すると無効になるので絶対に開封しないようにしてください。
 - 英文の「卒業証明書」「成績・単位修得証明書」「調査書」が必要な場合は、さらに英文作成の時間が必要となるため、余裕をもってかなり早めに申請するようにしてください。

2. 就職を希望する場合

- 本校は、伊勢公共職業安定所（ハローワーク伊勢）の委託を受けて、高校生の職業斡旋を行っています。学校に来ている求人情報を知りたい場合は担任に申し出てください。
- 学校や公共職業安定所を通して就職するメリットとしては、
 - ①原則として正社員としての求人である
 - ②内定後、卒業するまで採用を待ってくれる
 - ③職安からの求人票なので、最低限のルールに則った求人であるなどがあります。その反面、自分が働きたい企業・職場から求人があるとは限りません。
- 学校を通さない就職としては、
 - ①縁故で就職する（企業との何らかの縁故があることを採用の条件とする採用です。例えば、親の経営する会社や親戚や知り合いが勤務する会社で縁故により雇用される場合を指します。）
 - ②一般の就職情報（雑誌や広告）を見て試験を受ける
 - ③公務員試験を受けるなどがあります。一般の就職情報誌を見て就職活動をする場合は、採用条件や企業情報について、特に慎重に調べる必要があります。
- 就職試験は、9月16日以降に実施されます。通常、受験後一週間程度で合否の結果がでます。不合格の場合は、再度企業探しから始めます。
- 合否については、わかり次第必ず報告してください。
- 就職試験では、いずれの企業でも面接が最重要視されます。特に、協調性をもって他人とうまく話や活動のできる、いわゆる「コミュニケーション能力」が重視される傾向があります。
- 内定が決まった後で辞退することはできません。

<高校の調査書・推薦書などが必要な場合の手続き>

以下を準備し、応募の2週間前までに担任へ提出してください。

①必要事項を記入した「証明書申請用紙」

- 高卒者募集の場合、調査書などは原則的に指定の書式「全国高等学校

統一用紙」による提出となります。書式指定の有無は必ず確認し、「証明書申請用紙」の記載欄に明記してください。

②手数料

- ・在校生 1 通 500 円、卒業生 1 通 800 円。
（自宅への郵送を希望する場合はプラス 500 円）。

<申請及び書類の取扱について>

- ・出願締め切り間際の申請では、事務処理上、間に合わせることができません。出願期日には十分注意し、早めに申請してください。
- ・調査書・推薦書などは開封すると無効になるので、絶対に開封しないようにしてください。

【みなさんへのお願い】

- ・毎年、高校卒業後の進路集計を行っています。
- ・卒業後の進路については、進学・就職の合否結果を必ず担当に報告してください。
- ・進路が未決定の場合でも必ず担当に報告してください。
- ・最初に書きましたとおり、本年度はコロナウイルス感染症の状況が、みなさんの進路活動に影響を与える可能性があります。希望進路先の情報については、自ら積極的に調べて、遅滞のないよう進路活動を進めてください。